

## ハーバード大学との共同による東日本大震災デジタルアーカイブを用いた学生交流を実施しました(2015/09/24-25)

テーマ：震災アーカイブ、学生交流

場 所：ハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本研究所

2015年9月24日、25日にハーバード大学 エドウィン・O・ライシャワー日本研究所において、東北大学の学部生5名、リーディング大学院生3名と当研究所 情報管理・社会連携部門の柴山明寛准教授、ポレー・セバスチャン助教が、ハーバード大学との共同による東日本大震災デジタルアーカイブを用いた学生交流を実施しました。

初日は、ハーバード大学のゴードン教授およびテッド・ベスター教授、森本研究員と柴山明寛准教授、ポレー・セバスチャン助教で東日本大震災アーカイブの現状報告と今後の取組について、意見交換を行いました。意見交換では、東日本大震災デジタルアーカイブの授業の継続、デジタルアーカイブの連携強化について同意しました。

翌日は、ハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本研究所が主催しているJAPAN Forumにおいて、東北大学の学生8名が東日本大震災デジタルアーカイブを用いた発表を行いました。本発表は、ハーバード大学で開発した東日本大震災デジタルアーカイブとWakuシステムを利用した授業を東北大学で昨年度から実施し、本年度からの学生交流として、ハーバード大学で発表を行ったものです。発表では、ゴードン教授とポレー・セバスチャン助教がコーディネートを行い、学生が追悼モニュメント、震災遺構、震災と宗教、リスクマネジメント、ソーシャルネットワークを用いた減災などに関する研究成果を発表しました。発表後は、様々な議論を交わし、今後も継続して実施することに同意しました。



JAPAN Forumの様子（ゴードン教授、柴山准教授、ポレー助教、写真奥：学生達）



JAPAN Forumでの学生達の発表の様子



ファカルティクラブでの記念撮影の様子（両大学の教員と東北大学の学生達）

文責：柴山明寛、ポレー・セバスチャン（情報管理・社会連携部門）